

事務事業名		老人ホーム入所措置事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	2 やさしくふれあいのある健康福祉づくり					担当組織	担当部	健康医療部	担当課	いきいき高齢課
	政策	3 助け合い生きがいを実感できるまちづくり					担当係	高齢福祉係	担当課長名	片柳利幸	
	施策	1 豊かで健やかな長寿社会の実現					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	2 自立支援サービスの推進					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	4291	一般	3	1	3	老人ホーム入所措置事業					
	事業区分		市単独事業・国県補助事業		市単独事業		任意的事業・義務的事業		義務的事業		
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	昭和38年度～ 年度		根拠法令 条例等	老人福祉法・老人福祉法施行細則、老人ホーム入所判定実施要綱					
	実施方法		事業分類		リーディングプロジェクト		市長マニフェスト		該当なし		
	2-9										

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)							
市民からの相談等により65歳以上で環境上及び経済的理由により居宅で養護を受けられない者を入所判定委員会に諮り、養護老人ホームへ入所措置する。			市民からの相談等により65歳以上で環境上及び経済的理由により居宅で養護を受けられない者を入所判定委員会に諮り、養護老人ホームへの入所措置を行った。また、入所者の現況把握を行うため施設を訪問し、面談を行った。							
活動指標			単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)		
年度内措置者数			人	5	7	7				
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
65歳以上の環境上及び経済的理由により居宅で養護を受けられない者及びその関係する家族。			対象指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
65歳以上高齢者数			人	31,140	32,923	34,706				
目的										
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)			養護老人ホームで安心した生活ができる。							
成果指標			単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)		
一人暮らし高齢者数			人	3,982	4,213	4,444				
高齢者世帯数			世帯	3,757	4,027	4,297				
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)										
安心した生活を送ることができるとともに、必要なときに適切な介護保険サービスが受けられるようになる。			上位成果指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
入所措置者数			人	44	44	50				

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)		
	国庫支出金	千円							
	県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円	10,398	8,638	11,388				
	一般財源	千円	89,355	95,715	95,197				
	事業費計(A)	千円	99,753	104,353	106,585	0	0		
	事業費の内訳	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
		報償金	15	報償金	10	報償金	20		
		消耗品費	3	消耗品費	0	消耗品費	0		
老人ホーム入所委託料	99,735	老人ホーム入所委託料	104,343	老人ホーム入所委託料	106,565				
人件費	人	1	1	1					
のべ業務時間	時間	478	450	450					
人件費計(B)	千円	1,860	1,773	1,773	0	0			
トータルコスト(A)+(B)	千円	101,613	106,126	108,358	0	0			

事務事業名	老人ホーム入所措置事業	担当部	健康医療部	担当課	いきいき高齢課	担当係	高齢福祉係
-------	-------------	-----	-------	-----	---------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	昭和38年に老人福祉法が施行され福祉事務所長が措置を行なうようになった。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	三位一体改革により平成18年度から措置に係る国庫負担金が廃止され、一般財源化された。また、平成18年度より入所者が要介護状態になった場合に介護保険サービスの利用が出来るようになった。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	特になし

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	現状維持により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている		理由・改善案	この事業を通して、環境上及び経済的理由により居宅で養護が受けられない高齢者を養護老人ホームへ入所措置することは、施設で養護され、必要なときに適切な介護サービスも受けることもでき、高齢者が安心した生活を送ることができることから、意図することは結果に結びつく。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない		理由・改善案	居宅で養護を受けられない高齢者を老人福祉法等の基準に基づき養護老人ホームへ入所措置することは、老人福祉法第11条の第1項に規定される自治体の責務であり、妥当である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である		理由・改善案	この事業は、環境・経済的理由により居宅で養護を受けられない高齢者に対し入所の措置をする目的で実施しているため、対象と意図は合っている。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない		理由・改善案	入所相談者のうち措置が必要と思われる高齢者への措置は適切に行われており、成果は出ている。この事業は、老人福祉法で定められているとおり実施しなくてはならないため、成果向上余地はない。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない		理由・改善案	類似事務事業名
	*類似事務事業があれば、名称を記入				
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない		理由・改善案	この事業は、市町村の義務的業務として老人福祉法に基づき行なっているものであり、措置できる人数を減らすことはできない。人件費についても、入所措置関係の事務を担当者1名で効率的に進めているため、これ以上のコスト削減は見込めない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担は適正である		理由・改善案	国の指針により入所者の対象収入により負担割合が定められているため適正化の余地はない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)				
老人福祉法に規定される市の責務であること、及び居宅で養護を受けられない高齢者の生存に影響があるため、事業の休止・廃止はできない。					

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																						
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			